

こども病院ひるば

編集 企画・管財係 〒420-8660 静岡市葵区漆山 860 TEL：054-247-6251(代表) FAX：054-247-6259

地域医療連携室紹介

地域医療連携室は、紹介患者の診療が滞ることのないよう業務を行っています。社会が複雑化し、こども達の環境も様々な問題を抱えています。その問題に対し多職種が連携し、患者とご家族が支援、安心・安全・安楽に療養生活が送れるよう、必要となる機関への橋渡し役を担っています。

《構成メンバー》

* 看護師

退院支援を中心に医療機関はもちろん保健機関、福祉、行政、教育、訪問看護ステーション、児童相談所、在宅関連業者等と連携しています。また病棟担当制とし、患者・ご家族が安心して退院できるよう相談し準備を進めています。退院後は外来看護師と共同し、支援を継続しています。

* 医療ソーシャルワーカー

患者やご家族からの医療費助成や社会保障制度の相談、病病連携、病診連携に加え、保健センター、学校、児童相談所等、小児特有の地域の他施設機関専門職との連携が主な業務です。

* 小児慢性特定疾病児童自立支援員

平成27年の児童福祉法の改正で新設された事業です。こども病院の入院患者の学習支援（高校生が多い）やハローワークと連携した就労支援、県内の小児慢性相談担当の保健所保健師等との連携を行います。

* 総合医療相談窓口

患者とご家族の医療に関する相談を行い、希望に沿った対応ができるよう、多くのスタッフと協力しています。電話相談も受けています。

* 医師

地域医療連携室長として統括責任を担っています。
様々な職種がチームとなり円滑に業務遂行できるようまとめています。

* 医療事務

初診予約手続き、電話対応、予約カルテ準備、紹介医への報告書等送付、他医療機関へ紹介する際の予約手続き等の医療連携事務や統計資料作成を行っています。

* 一般事務

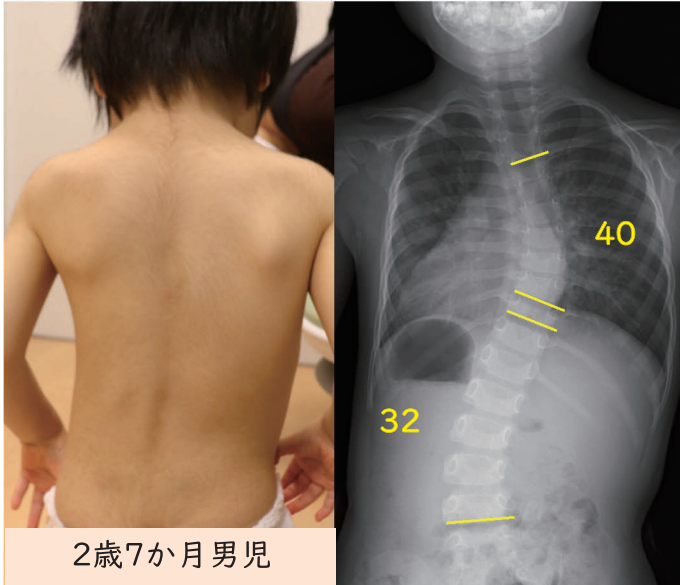
登録医・ふじのくにねっと受付、連携事業の統計処理等の、事務補助及び庶務を担当しています。



こどもの健康と幸せに向かい、医療連携チームが一丸となり、患者、家族だけでなく診療所、総合病院の医療者、福祉、教育の関係者に良かったと感じていただけるよう、役割を果たします。

早期発症側弯症 Early Onset Scoliosis (EOS) の治療

整形外科 藤本 陽



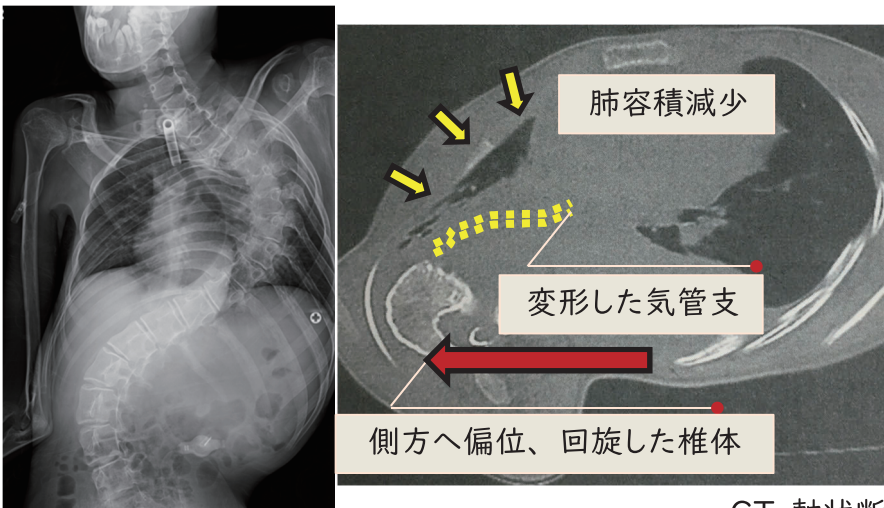
2歳7か月男児

10歳未満で発症する側弯症を早期発症側弯症 (EOS)とといいます。

EOSは幼少期に悪化しやすく、胸郭が変形しやすい特徴をもちます。

成長過程において、肺胞数は8歳までしか増加しないため、EOS症例では正常な呼吸と肺の成長が妨げられ、肺性心、呼吸不全により20代で死亡することがあります。

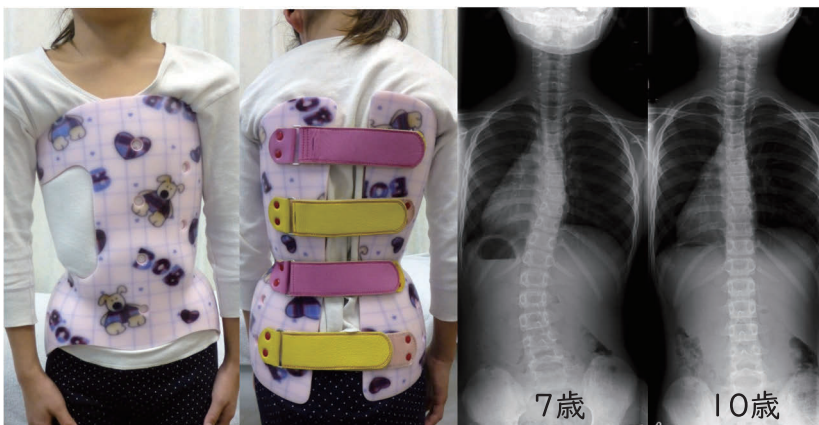
そのため、幼少期での治療介入が必要です。



胸郭変形による呼吸障害

- ・ 拘束性換気障害
胸郭容積の減少
コンプライアンス低下
- ・ 閉塞性換気障害
椎体の胸腔内突出
気管圧排

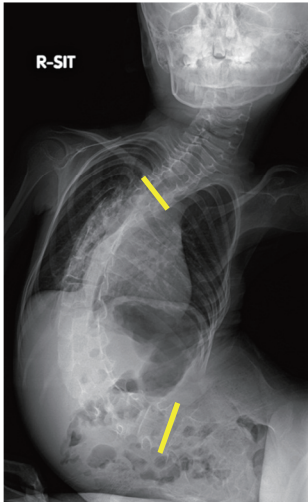
CT 軸状断



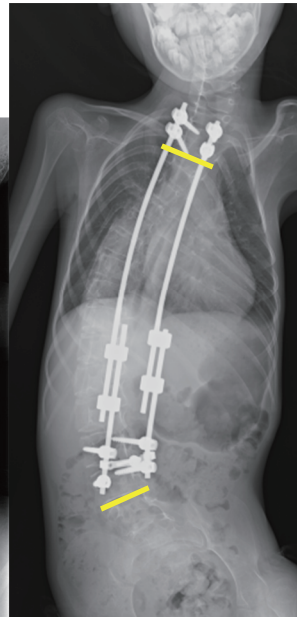
程度の軽いうちは装具治療を行います。

装具治療は進行防止が目的ですが、明らかに改善する症例もあります。

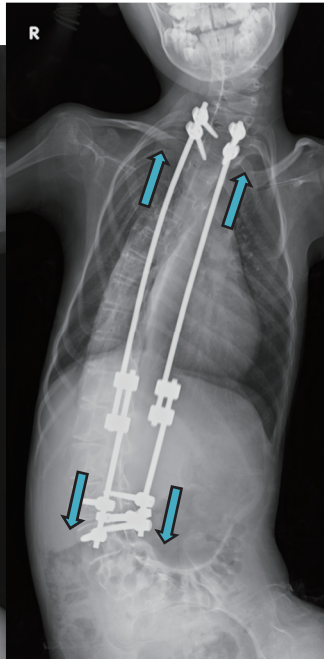
手術治療
Growing Rod法



7歳



初回術後



9歳
3回延長術後

幼児期のうちに高度（Cobb角60度以上）に進行する症例が対象です。

成長温存手術（Growth Friendly Surgery）と呼ばれ、6ヶ月に1度延長手術を行います。

成長が終了する頃に最終固定術を行い、治療が完了します。

側弯症手術
（一期的矯正）



保存加療で骨成熟まで待機できれば、一期的矯正を行います。

側弯症手術により、

- ・ 胸郭の拡大による呼吸機能の改善
- ・ 脊柱の安定による立位・座位バランスの改善
- ・ 今後の悪化予防効果が得られます。

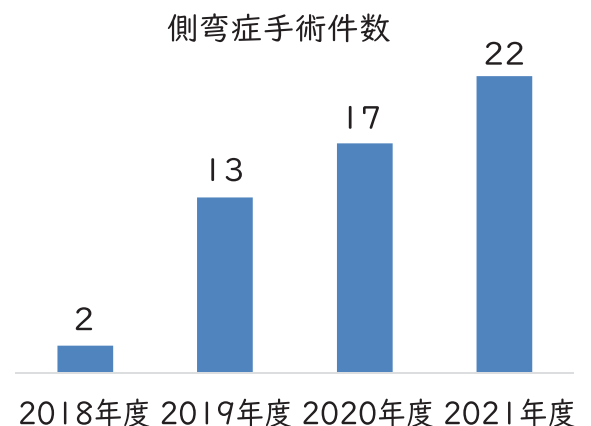
側弯症がある程度以上に悪化すると骨成熟後も悪化します。

早期の治療介入が重要です。

診療実績

2019年1月に脊椎手術を始め、徐々に件数が増加しています。

脊椎手術総数：66件（2021年度末見込み）
うち側弯症：54件



不整脈内科を開設しました！

2021年4月1日に不整脈内科が開設され、科長を拝命しました芳本 潤（よしもと じゅん）と申します。

1999年3月に京都大学を卒業し、神戸中央市民病院小児科、日赤和歌山医療センター第二小児科をへて2009年から静岡県立こども病院循環器科医長として診療に携わってまいりました。

不整脈内科という名前はなじみがないものかもしれませんが、全国のこども病院では初の診療科で、小児の不整脈科としては全国で2番目です。

この不整脈内科では心臓の脈の乱れである「不整脈」に対する治療を行います。



不整脈内科 科長 芳本 潤

対象となる疾患

頻脈性不整脈：発作性上室頻拍、WPW症候群、心室頻拍、心房期外収縮、心室期外収縮など
徐脈性不整脈：洞不全症候群、房室ブロック、発作性徐脈など

特徴とする診断・治療

- カテーテルアブレーション：緊急アブレーション・乳幼児アブレーション・循環補助下アブレーションも数多く手がけています。
- ペースメーカー植え込み：心臓血管外科と心筋電極・経静脈リードペースメーカー植え込みを行っています。
- 心室再同期療法(CRT)：心室内非同期に起因する心不全に対し行っています。単心室を含む先天性心疾患合併症例にも対応します。
- 植え込み型除細動機(ICD)：遺伝性不整脈や先天性心疾患術後心室細動、特発性心室細動等に対するICD植え込みを行っています。
- 植え込み型心電計(ILR)：原因不明の失神に対し、精査目的で積極的に植え込みを行っています。
- 遺伝性不整脈遺伝子検査：国内研究施設および遺伝染色体科と協同で遺伝子検査を行っています。

これらの疾患の症状としては、急に脈が速くなる（動悸）、脈が飛ぶ、意識を失う等が挙げられます。

対象となる年齢は、胎児期からAYA世代と呼ばれる思春期・若年成人（およそ30歳代）、また遺伝性不整脈に関しては成人である両親や親戚の診療まで行います。高校生や成人になっても引き続き診療を行う事が出来るようになりました。また成人でも新規患者さんで受け入れ可能です。

カテーテルアブレーションにおいては先日通算300例を越え、5kg台の乳児から成人まで、また重症心不全に対する補助循環下のアブレーション、先天性心疾患（フォンタン型手術後やダブルスイッチ術後）に対するアブレーションなどを手がけてまいりました。

3次元マッピング装置としてCARTO3(R), Ensite NavX(R)システムを備え、複雑先天性心疾患の治療においては、3Dプリントモデルを積極的に活用しながら治療を行っています。

また経静脈・心筋電極によるペースメーカー・植え込み型除細動器 (ICD) ・心臓再同期療法器 (CRT) の植え込みもいつでも可能です。

遺伝性不整脈の診断・治療においては、国内研究施設および当院遺伝染色体科と協同で行っており、患者さん本人だけでなく親御さんや親戚の方々もまとめて診療を行っています。

これまで通り学校心臓検診の精査や、動悸・失神の症状でお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、不整脈内科宛にご紹介ください。また12誘導心電図、ホルター心電図などの読図にお困りの際には、お気軽にFAXや電子メール、SNSにてご相談ください (ただし医療関係者からのものに限らせていただいております)。

全国でも15人程しかいない小児の不整脈専門医として、あらゆる不整脈疾患に対し、最新の知見に基づいて、患者さんと共にShared Decision making(共有意思決定)のスタイルで最善の治療を目指してまいります。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



連絡先: 静岡県立こども病院

電話 054-247-6251

FAX 054-247-6259

メールアドレス:

jun-yoshimoto@i.shizuoka-pho.jp

SNS: @yoshimoto_jun

Facebookは芳本潤でご検索ください。

またLINEの場合は一度上記メールアドレス宛にご連絡ください。

祝 病院が表彰されました

9月28日付けて総務省自治財政局より、令和3年度自治体立優良病院として総務大臣表彰を受けました。

本表彰は、救急医療、高度・特殊・先駆的医療の状況や他の医療機関との連携状況等を総合的に判断し、地域医療に果たしている役割が大きいことを評価していただいたものです。

今後も、静岡県小児医療の現状を踏まえた、広域救急患者受入体制の構築や、全国的に課題となっている医療的ケア児・成人移行患者への対応など、静岡県小児医療の最後の砦として積極的に対応してまいります。



★ホームページ

様々な情報の発信や内容の充実につとめています。
お知らせは定期的に更新しています。是非ご覧下さい。

こちらからアクセス →



静岡県立こども病院QRコード



編集後記

医療は様々な職種、多くのチームで成り立っていることを日々感じます。こども病院の医療も多くの人の力で為し遂げられています。皆さまに深く感謝いたします。

河村秀樹